

High♥Line Wakabayashi はいらいん若林

みんなでここさ

入らいん!

若林区まちづくり協議会会報

2002.11.15

Vol.

6

第14回 若林区民ふるさとまつり開催

10月の20日に若林区まちづくり協議会の一大イベントである若林区民ふるさとまつりが開催されました。当日はあいにくの雨模様。どれくらいの人 coming しているものか心配でしたが、私たち取材班が会場を訪れたお昼ごろは結構な人通りがあって賑わっていました。

会場の入り口でパンフレットをもらって歩いていくと、最初に目に入ったのはフリーマーケットに集まる沢山の人の人だかりでした。古着やおもちゃなどがかなりリーズナブルな価格で売られていました。

フリーマーケットを抜けると、さくらんぼの種を飛ばして飛距離を競い合う人や竹馬に挑戦する子ども、ミニSLに乗るため列を作る親子連れなどみな思い思いに楽しんでいる様子でした。

ステージ会場に足を運ぶと、音楽バンドがハワイアン風のメロディーを奏でていて、ステージ周りにはお蕎麦やだんご、フランクフルトなどが売られ「これぞおまつり」という雰囲気醸し出していました。観客席では多くのお客さんが焼きいもやたこ焼きなどを頬張りながら、リラックスしてステージ発表に聞き入っていました。

「もう少し人がほしい。雨が邪魔してますね。」

この雨をおまつりの関係者の方はどのように思っているのかマイクを向けたところ、緑のハッピを着た実行委員の方が、そう答えてくれました。これだけのおまつりには準備も大変だったでしょうから「雨さえ降らなければ」という思いは、皆さんお持ちだったので

しょう。

「それでも、この悪天候にも関わらず、これだけのお客さんが来てくれるというのは、ありがたいことです。このおまつりも定着してきたといえるのでしょうか。まちづくりの一環としては、いいことですよ。」(実行委員)。

実行委員会の方々、来年も楽しいおまつりにしてください。お疲れ様でした。



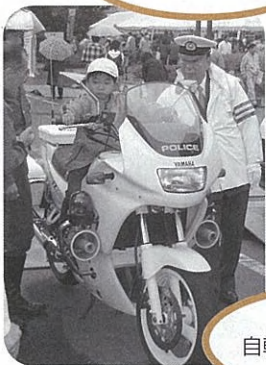
雨天でも人だかり



防犯ガラスの強度実験コーナー



白バイ体験コーナー



自転車で発電体験!



会報の愛称

「はいらいん若林」とは

仙台弁の「入らいん(お入りください)」に英語のhigh(ハイ・高い)とline(ライン・路線、進路、などの意)とをかさねあわせた造語です。温かさより高いレベルをめざそうという気持ちが込められています。

特集 地域における世代間交流

現代は、世代間の交流が薄れてきたといわれています。皆さんは、地域の子どもの知り合いがどれくらいいますか？子ども皆さんは、近所のおじさんおばさんたちとお話をしていますか？

今回は、日ごろから地域で活躍されているお二人をお招きして、世代間交流について、いろいろとお話をお伺いしました。



いっしょに歌って踊ってという懇親会ではありませぬ。地域の一時避難所として使われていた近くの公園では、防災訓練を真剣に行います。消防署の出入り協力しての心肺蘇生法や消火訓練など、しっかりやります。訓練が終わったら大人と子どもと一緒にゲームをやりましょ。この前の会ではゲームも入れてやりました。地区に卓球の協会が入っている方がいて、その人がゲームを考えたりその場でチームわけをしてくれました。それが終わってお昼になったので食べます。地元にお蕎麦屋さんをやってた人がいて、うどんをばあばあでつくりました。

こんなことをやっています

森 私の住む町内会では、防災訓練で子どもたちや年配の人も楽しめるゲームを取り入れています。防災「懇親会」をやっています。

鈴木 私の住む町内会では、防災訓練で子どもたちや年配の人も楽しめるゲームを取り入れています。防災「懇親会」をやっています。



森 私の住む町内会では、防災訓練で子どもたちや年配の人も楽しめるゲームを取り入れています。防災「懇親会」をやっています。

鈴木 私の住む町内会では、防災訓練で子どもたちや年配の人も楽しめるゲームを取り入れています。防災「懇親会」をやっています。

交流のきっかけ

鈴木 私の住む町内会では、防災訓練で子どもたちや年配の人も楽しめるゲームを取り入れています。防災「懇親会」をやっています。

森 私の住む町内会では、防災訓練で子どもたちや年配の人も楽しめるゲームを取り入れています。防災「懇親会」をやっています。



鈴木 私の住む町内会では、防災訓練で子どもたちや年配の人も楽しめるゲームを取り入れています。防災「懇親会」をやっています。

森 私の住む町内会では、防災訓練で子どもたちや年配の人も楽しめるゲームを取り入れています。防災「懇親会」をやっています。

交流は楽しい

鈴木 私の住む町内会では、防災訓練で子どもたちや年配の人も楽しめるゲームを取り入れています。防災「懇親会」をやっています。

森 私の住む町内会では、防災訓練で子どもたちや年配の人も楽しめるゲームを取り入れています。防災「懇親会」をやっています。



鈴木 私の住む町内会では、防災訓練で子どもたちや年配の人も楽しめるゲームを取り入れています。防災「懇親会」をやっています。

裏方のロミ

森 私の住む町内会では、防災訓練で子どもたちや年配の人も楽しめるゲームを取り入れています。防災「懇親会」をやっています。

鈴木 私の住む町内会では、防災訓練で子どもたちや年配の人も楽しめるゲームを取り入れています。防災「懇親会」をやっています。

森 昭彦 さん

東和町内会の町内会活動に参加し、20年を超える。老人クラブやお麻子の会のほか地域の子ども達に篠笛を教える会を開くなど、町内会以外の地域活動にも精力的に活躍中。



鈴木

私の住む町内会では、防災訓練で子どもたちや年配の人も楽しめるゲームを取り入れています。防災「懇親会」をやっています。

森

私の住む町内会では、防災訓練で子どもたちや年配の人も楽しめるゲームを取り入れています。防災「懇親会」をやっています。

鈴木

私の住む町内会では、防災訓練で子どもたちや年配の人も楽しめるゲームを取り入れています。防災「懇親会」をやっています。

森

私の住む町内会では、防災訓練で子どもたちや年配の人も楽しめるゲームを取り入れています。防災「懇親会」をやっています。

鈴木 小み さん

社会学級や地区PTAに参加し、昨年度で主任児童委員をされる。現在遠見塚地区児童福祉協議会長。若林区児童福祉協議会連絡協議会委員もされる。



地域の
芸能紹介

木下白山神社 丹波神楽

9月28日に、木下白山神社丹波神楽が行われました。当日は朝からあいにくの雨でしたが、鍛冶屋敷集会所にての奉納となりました。

木下白山神社は、古歌に名高い若林区木ノ下に鎮座し、8世紀後半に創建されたといわれている古い由緒を持つ神社です。口伝では藩祖伊達政宗公が薬師堂を再築し、白山神社を大改築した折に、自ら滅亡させた国分家の家臣の霊を供養するため、国分家の氏神であった白山神社に遺臣を集めて、師匠として丹羽の国(京都府)より湯原丹羽上掾を招き、神楽を奉納したのが始まりといわれています。以来伊達家のお抱え神楽として庇護され、例祭には舞楽と共に舞われてきましたが、その後神楽にも変化改善が加えられ、昭和3年に七郷の人々に引き継がれ、白山神社では中断されていましたが、昭和57年に現会長の芳賀清六さんとともに鍛冶屋敷、東和町内会の同好者により復活し、現在15名の有志で保存会を結成して運営しています。



神楽は黙劇で、関東風な重々しさはなく、軽妙な道化舞などが入って観客の笑いを誘う親しみやすい芸風です。今回の演目は、方平舞、神招舞、釣舞、種時舞でした。種時舞の時には農民の大豊作の感謝をこめて餅などがまかれ、子供達も大喜びでした。木下白山神社丹波神楽は平成8年3月に仙台市登録無形民俗文化財に指定されています。

熊さん集団資源回収の巻

ご隠居 おや、熊や。今日は、また随分と眠そうな様子だね。

熊さん さすがご隠居、よくお気づきで。おいら今朝は、いいことしてきたんですよ。

ご隠居 随分おどろおどろしい名前だねえ。そりゃあんだ、「集団資源回収」というんだよ。なんだろう、自分がやってきたことも分からないのかい。

熊さん ああ、そうそう、それでさあ、「シユウダンシゲンカイシユウ」。実は、「休みの日までごごごごしてらっしゃるもろかい」ってあつかさんに叩き起こされて、「たまには子ども会のお手伝いでもして来な」って外に放り出されたんで、あつしはよく知らないんでさあ。子どもたちは、集めてリサイクルするんだって言うてました。ご隠居は、よくご存知なんで？

ご隠居 あたしの友だちに回収業者の伝之助さんという人がいます。いろいろ聞いていますよ。この町内は主要な品目の分別がしっかりされていて助かるかな。

熊さん シユウワーピンモノ？
ご隠居 やれやれ。そんなことも知らずに集団資源回収を手伝ってきたのかい。子どもたちの苦勞が目につかぶよ。主要な品目って言うのは、新聞、雑誌、段ボール、紙パック、布類、アルミ缶、再使用ピンの7つの中で、それぞれもう一度使えるものにしやすくするよう、各家庭で分け出してもらおうものだよ。

熊さん 新聞！そう、新聞。何を隠そう今朝のあつしの仕事は新聞を集めることを頼まれました。

ご隠居 きちんと新聞だけで括られていただしよう？

熊さん それがねご隠居。不届きな輩がいて、新聞の中に電話帳やティッシュの箱を混ぜて置いていっているのがありましてね。

ご隠居 それは困ったねえ。伝之助もそう言うのは、伝之助たちが後で分別しなきゃならないんで手間がかかって大変だって言うてたねえ。

熊さん そいつは心配要りません。あつし、そりゃ腕まくりして、新聞は新聞、電話帳は電話帳、ティッシュの箱はティッシュの箱って、きちいっと分け直して来ました。そりゃ、疲れたの何のって。

ご隠居 それはいいことをしましたね。えへへ。あつしもいつもごごごしていただけるじゃあねえんで。やるときはやるんでさあ。ただ、あれは疲れましたね。あの折り込みチラシっていうんですか？

ご隠居 チラシが新聞のそこかここにご混ぜてまして、それを抜き取って、集めて束ねるのに、もう半時くらいかかったんじゃないのかってくらい。もうどの新聞にもチラシが混ざってましてね。

ご隠居 チラシ？お前さん、チラシは新聞と一緒にいいんだよ。ご苦勞なことだったけど、次はもうちょっと勉強してから手伝いに行きなさいよ。



若林区まちづくり協議会
事務局
若林区まちづくり推進課
〒984-8601 若林区保春院前丁3-1
TEL282-1111

会報プロジェクトメンバー
リーダー 勝又 久雄 / 菅井 てるみ
西條 芳郎 / 斎野 明子
師岡 優子 / 斎野 明子
川村 里美 / 和野 勝

編集後記 これからも私たちの住んでいる若林区をいろいろと紹介できたらいいと思います。皆さんのところへ取材に伺うこともあると思います。そのときは、ご協力よろしくお願いいたします。この会報に取り上げて欲しいことや、情報・アイデアなどありましたら、教えてください。お待ちしております。(S)